

根岸台保育園耐震診断調査結果報告書

概要版

平成24年8月

朝霞市総務部財産管理課

目 次

1. 耐震診断調査について	
(1) 建物の概要	3
(2) 診断結果の概要	3～4
(3) 耐震性能	4

1. 耐震診断調査について

(1) 建物の概要

- ①竣工年は昭和49年である。(築38年経過)
- ②構造規模は、軽量鉄骨造地上1階、延床面積516.32 m²である。
- ③基礎は、直接基礎工法である。

(2) 診断結果の概要

耐震診断						
階数	構造耐震指標 I s 値			保有水平耐力 q 値		
1 階	現況	目標	判定	現況	目標	判定
X 方向	1.22	0.75	OK	1.48	1.25	OK
Y 方向	1.51			1.83		

(注意事項)

- ① 本建築物は、工業化住宅性能認定を受けた工法によって建設されており、平面形状はL字形であり、屋根構面全面にブレースが配置されたブレース架構となっている。
- ② 耐震診断は、(財)日本建築防災協会「耐震改修促進法のための既存鉄骨造建築物の耐震診断および耐震改修指針・同解説(1996)」により行われている。
- ③ 保有水平耐力は、(社)日本建築学会「軽鋼構造設計施工指針・同解説」および工業化住宅性能認定の諸規定にある実験値に基づくこととし、水平剛性は、工業化住宅性能認定の諸規定にある実験値に基づくこととしている。

《コメント》

- ①設計図書※1に則した図面がないため、建物形状、スパン、高さ、部材断面寸法及び、耐力壁、屋根ブレース、基礎梁の配置、基礎形状等は現地調査により確認し、設計図書と異なる部分については、現地調査結果を採用し診断を行った。
- ②鉄骨架構部は設計図書とほぼ相違なかった。一部、鉛直ブレース端部のガセットプレート形状が異なる部分があったが、構造耐力上、影響はないと判断した。
- ③基礎梁の鉄筋径、フーチング形状が設計図書と異なっていたが、調査結果を採用し診断を実施した。
- ④鉄骨部に錆びの発生はあまり認められず、概ね健全な状態であった。また、溶接不良やボルトの緩み等は認められなかった。
- ⑤基礎の部材の調査を行った結果、不動沈下に起因するような変異はなかった。

※1 根岸台保育園は、建築時に関する設計図書等がないため、国の認定を受けた同工法の設計図書等を参考に現地を確認し診断を行った。

(3) 耐震性能

建物を一体として診断を行いX方向、Y方向ともにI_s値、q値が目標値を満足しており必要な耐震性能があると判断する。